

町政を問う

住民合意を前提に、 より積極的移住定住促進策を！



篠原 天

篠原 わが町は、近隣自治体に比べ、積極的誘致策が乏しいとの評価があるが？

町長 そうは思わない。補助を前提とした誘致には違和感があり、インフラ整備、行財政改革、子育て環境充実などの施策が将来の流入人口増加に寄与すると考える。

また、県主導で進む空き家情報のデータベース化などにも、積極的に情報を提供し、町内の準都市部、別荘地、農村部まで網羅した空家情報の提供も取り組みの一つである。

町長 まずは、各自治会

移住定住施策について

具体策はあるか？

町長

既存の住環境整備を
中心に考えたい

なり、地域活性化協議会等で検討され、住民合意の上で各地域の空き家解消事業として提案が挙が

ってきたら、町として一定の事業補助を検討することはやぶさかではない。

鬼関連施設の活用について

篠原 施設の活用法について、現在までの検討状況と今後の活用について。

町長 当初、指定管理者制度導入など検討されたが、不調に終わり、町直営での存続も検討したが、財政負担が重いと判断から休館としている。

ただ、現観光施設からの用途変更は可能なので、特殊な構造の施設ではあるが、具体的に活用法の提案があれば、検討させていただきます。



早期四車線化が望まれる米子自動車道

篠原 鬼の像は、付近住民になじみも深く、期間

を区切ってライトアップ再開は検討できないか？

町長 環境配慮は必要だが、地域のシンボルとして、例えばお盆の帰省シーズンなど、期間限定でのライトアップ再開について、周辺集落の区長さんに打診してみたい。

米子道完全四車線化について

篠原 この問題について、町長の取り組み姿勢は？

町長 通行の安全性確保、利便性向上の観点から、従来以上に積極的に早期実現に向け働きかけてゆきたい。

また、近隣市町村長とも、この点での意見は一致しており、共同して、取り組みを強化してゆきたい。